

オスプレイ NO!

全国に墜落の危険 と爆音被害が



高江上空を飛行するオスプレイ
2012年10月10日
(高江在住 伊佐真次さん撮影)

沖縄では、9月19日に発表された「日米合意」を破り、人口密集地、学校、病院上空での飛行、22時以降の夜間訓練飛行、コンクリートブロックを吊り下げての住宅上空飛行など異常な訓練が連日おこなわれ、爆音はしばしば90デシベルを超えています。

日米両政府は、こうした訓練を11月から7つのルートで全国各地でおこなうとしています。墜落の危険と爆音の被害は全国各地に及びます。

オスプレイは日本全土で訓練



沖縄と全国が 連帯し 配備撤回を

9月9日に10万人以上の県民が参加し「オスプレイ NO」「普天間基地の閉鎖・撤去」を決議しました。県民大会後、政府への要請行動をはじめ、全都道府県とオスプレイ訓練ルートの市町村に大会決議を送付し、議会で反対決議を上げるよう、全国的な運動を呼びかけています。こうした中で、全国各地の自治体でオスプレイ配備反対等の意見書が採択され、沖縄と連帯した運動が広がっています。

オスプレイも米兵犯罪も根はいっしょ

10月16日に沖縄本島で、米兵による女性への集団暴行事件が引き起こされました。米軍は「夜間外出禁止」措置をとりましたが、そのさなかの11月2日の深夜、米兵の住宅侵入、暴行事件が引き起こされました。1972年の沖縄県の本土復帰以降、米兵による刑法犯罪は5747件に上っています。これは基地があるゆえであり、米軍基地の全面撤去しか解決の道はありません。

米軍基地を撤去させ平和な日本をつくりましょう

米軍輸送機オスプレイの配備撤回・低空飛行訓練の中止を

年 月

衆議院議長 様
参議院議長 様

【請願趣旨】

日米両政府は10月初旬、国民の強い反対を無視して、欠陥機 MV22 オスプレイ 12機を世界一危険な普天間基地に強行配備しました。

オスプレイは、開発段階から何度も墜落事故を繰り返し、これまでに少なくとも36人が死亡しており、構造的欠陥機であることは世界に知られています。

日本政府は、アメリカ政府から4月のモロッコ、6月のアメリカ・フロリダ州でのオスプレイ墜落事故報告を受けて、「機体に問題はなかった。事故は人為的ミス」として「安全宣言」をおこないました。安全宣言は、「普天間基地への配備ありき」の姿勢を露骨に示したものであり、認めるわけにはいきません。

沖縄県では、普天間基地への配備前の9月、「オスプレイ配備計画を直ちに撤回し、普天間基地の閉鎖・撤去」を求める県民大会が10万人以上の参加で開かれ、「オール沖縄」の意思を確認しました。

県民大会後も「オスプレイ配備撤回」「普天間基地の閉鎖・撤去」「米軍基地返還」を求めて県内各地で住民大会が開かれています。

普天間基地に配備されたオスプレイは連日、人口密集地域での飛行、夜間飛行、低空飛行など「違反飛行」を繰り返し、沖縄県民の命と安全をおびやかしています。

オスプレイは、山口県・岩国基地、静岡県・キャンプ富士に分遣隊として派遣され、全国7つのルートで高度150メートル以下の低空飛行を含む訓練など、沖縄と日本本土のあらゆる場所での訓練が想定されています。このように、沖縄県民と国民を危険にさらすオスプレイの配備は許されません。

私たちは、下記事項の実現を求めます。

【請願項目】

- 政府は、オスプレイ配備の撤回と全国各地での低空飛行訓練中止をアメリカに求めること。

氏 名	住 所

取り扱い団体

【送付先】 安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-11-13
TEL.03-3264-4764 FAX.03-3264-4765